

業績のハイライト(個別)

平成17年9月期中間決算の概要について

当行では、中期経営計画「ステップ・アップ・プランⅡ」に基づき、業容の拡大と財政基盤の強化に努めてまいりました。

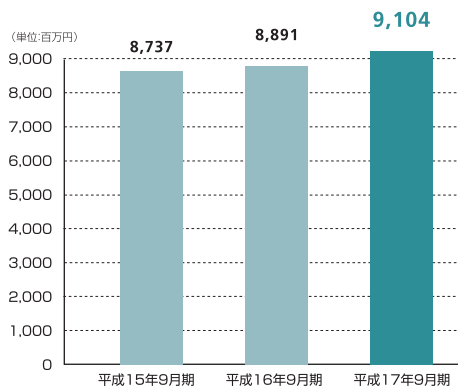
主な経営指標等の推移は次のとおりです。

	平成15年9月期	平成16年9月期	平成17年9月期
経常収益	8,737百万円	8,891百万円	9,104百万円
経常利益	326百万円	1,062百万円	1,245百万円
中間純利益	409百万円	895百万円	828百万円
業務純益	1,681百万円	1,395百万円	1,477百万円
コア業務純益	1,316百万円	1,421百万円	1,504百万円
預金・譲渡性預金残高	7,270億円	7,440億円	7,391億円
貸出金残高	4,810億円	4,954億円	5,068億円
有価証券残高	1,741億円	1,885億円	1,842億円
自己資本比率(単体)	7.83%	8.42%	8.51%

経常収益について

経常収益は91億4百万円(前年同期比2.3%増)となりました。経常収益が増加した主な要因は、貸出金の増加に伴い貸出金利息が増加したことや、有価証券利息配当金が堅調に推移するなど資金利益が増加したことによるものです。

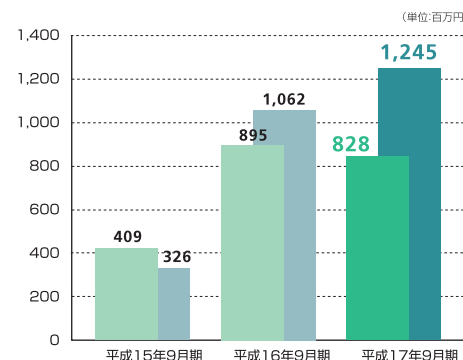
●経常収益



経常利益・中間純利益について

経常利益は12億45百万円(前年同期比17.1%増)、中間純利益は8億28百万円(前年同期比7.5%減)となりました。経常利益が増加した主な要因は、経常収益が増加したことに加え、経費の節減、経営改善支援の成果等により貸倒償却引当費用の負担が軽減したことによるものです。一方で、償却債権取立や貸倒引当金の取崩益が前年同期に比べて減少したことなどから、中間純利益は前年同期比で67百万円の減益となりました。

●経常利益 中間純利益

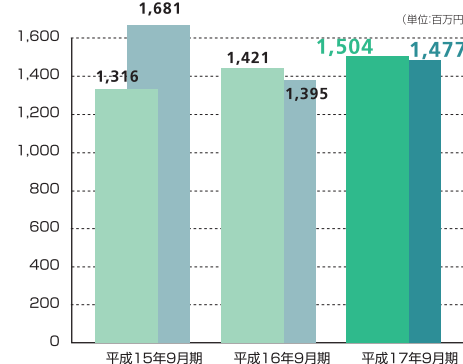


業務純益・コア業務純益について

銀行本来の収益力を表すコア業務純益は15億4百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

※コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および債券売買等の損益を控除した金額をいいます。

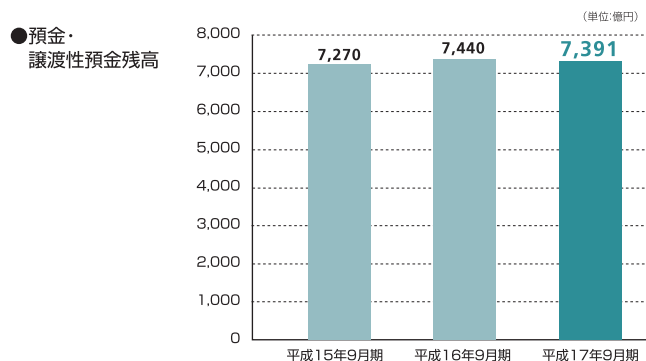
●業務純益 コア業務純益



業績のハイライト(個別)

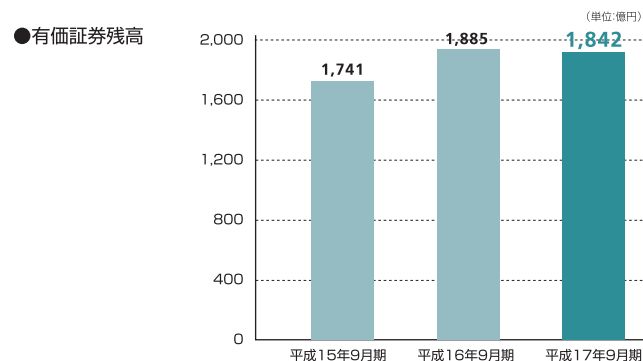
預金・譲渡性預金残高について

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金が増加したものの、法人預金、公金等が減少し、7,391億円（前年同期比0.6%減）となりました。



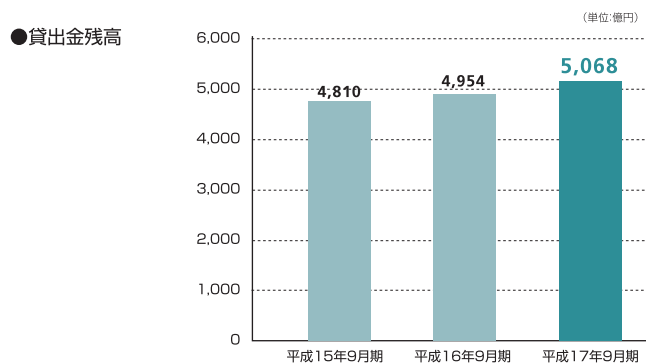
有価証券残高について

有価証券残高は、市場動向を勘案しリスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定した運用に傾注し、1,842億円（前年同期比2.2%減）となりました。



貸出金残高について

貸出金残高は、地方公共団体向け等の貸出が堅調に推移し、5,068億円（前年同期比2.2%増）となりました。



自己資本比率について

自己資本比率（国内基準・単体）は中間純利益を計上したことにより前年同期比0.09ポイント上昇し8.51%となりました。

